

今回ご紹介するのは、小路幸也 著『花咲小路四丁目の聖人』。

この作品は、花咲小路商店街の住人を中心に描いたシリーズの一作目で、物語の舞台は今どき珍しいアーケードのある商店街です。アーケードと聞くと、大宮の一番街商店街やすずらん通り商店街を思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれませんが。近所に商店街が無い私は、そんな素敵な街並みが身近にあることを羨ましく思います。

物語最大の秘密といえば、冒頭から登場する矢車 聖人（やぐるま せいと）の存在です。イギリス出身の老紳士で、今でこそセイさん

と気軽に呼ばれていますが、実はその正体は……かつて鮮やかな手口で美術品を盗み続けた大泥棒！ 紳士らしい優雅な振る舞いに若い人とも積極的に交流を持つ瑞々しい精神、次に何をするか分からないミステリアスなところがたまにカッコいい人物です。

さて、かつては活気のあった花咲小路商店街も、近隣的大型ショッピングセンター建設・後継者不在などから少しずつ衰退していました。そんなとき、謎めいた巨大企業に買収を持ちかけられたことから存亡の危機に直面します。元大泥棒は商店街を守るため、思いもよらない計画を仕掛けるのです。最後の痛快な展開にはスカッと爽快感がにじみ出ています。

巻を追うごとに個性豊かな住人達と、隠された秘密に遭遇します。それを秘密のままに抱えて商店街の日常が続いていくところが、私はとても好きです。お気に召しましたら、ぜひ続きも読んでみてください。

ちなみに、作中ではセイさんが英国紳士らしくお洒落なティーセットでお茶する場面がよく登場します。それにちなんで、次回のテーマは【紅茶】でお願いいたします。



紹介した本
『花咲小路四丁目の聖人』（ポプラ文庫）
小路幸也／著
2013年 ポプラ社

紹介者 マグカッパ



紹介した雑誌
月刊『つり人』
つり人社

突然ですが、皆さん「釣り」はお好きですか？
一般的にはちょっとマイナーで渋い印象のある「釣り」。好きとか嫌い以前に、やったことが無いという方も意外と多いのかもしれない。しかし最近では、釣り番組が動画サイト等で数多く配信されていることや、コロナ禍で再燃したキャンプブームの影響もあり、以前よりもずっと身近なレジャー＆スポーツとして広く親しまれるようになったのではないのでしょうか。
そこで今回ご紹介しますが、タイトルもそのものズバリ！『月刊つり人』です。
終戦の翌年に創刊されて以来、80年の歴史を誇る「国内唯一」の「釣り」の総合雑誌です。……などと言うと、堅苦しい専門用語ばかりが並んだコアな釣りファン向けの雑誌なんじゃないか？ と思われるかもしれませんが、この『つり人』は、毎号様々な特集をメインとして、釣りを始めたばかりのビギナーから、さらなる深み追求したいベテランまで幅広い層の釣りが満足のいく、充実した内容で構成されています。臨場感溢れる写真の数々は、眺めているだけで大自然の中の釣り気分を味わえます。初心者でも一端の釣り人になったような気になります（多分）！
その他にも、釣った魚のおいしい調理法や釣りにまつわる読み物の連載、17文字で釣り人生を詠む「爆釣川柳塾」など、釣りのノウハウを学ぶだけでなく、様々な角度から「釣りの楽しさ」を伝えてくれる、まさに「釣り」の「総合雑誌」と言えましょう！
冬場しか釣れない魚もたくさん！『つり人』片手に、海へ川へと釣りに出かけてみませんか？（でも本は濡らさないよう注意しましょう！）

How to Use 大宮区役所

知っているようで知らない大宮区役所。

建物の1階～6階まで様々な窓口がありますが、具体的に、どんなお仕事をしているのでしょうか？ 知れば大宮区役所がもっと身近に、そして便利に感じられるはず。

ということで、4階にある「スクラム相談所」に突撃インタビュー！スクラム相談所の運営事務局長、野田 泰彦（のだ やすひこ）弁護士（弁護士法人グリーンリーフ法律事務所所属）にお話を伺いました。

Q1.「スクラム相談所」とはどんなところですか？

さいたま市の士業（※）団体が文字通りスクラムを組み、各士業が協力して専門相談を提供し、事案の解決をはかることを目的とした相談所です。

現在は8つの団体が登録しており、さいたま弁護士会では99人の弁護士が登録、対応しています。

会社や事業に興味があり、かつ研鑽を積んでいる等、相談を受けるための要件を満たした弁護士のみが担当しています。

※士業とは？

国家資格などの専門資格にもとづき、独占業務（＝その資格がなければ携わることのできない仕事）などを担う専門職。

・法律問題に関する相談（契約内容や契約書の確認を含む）→弁護士
・特許に関する相談→弁理士
・登記について→司法書士
・税金について→税理士

など、あらゆる分野のエキスパートが相談に乗ります！

Q2.どんな人が対象？

さいたま市内に事務所や事業所を置く事業者の方。もしくは、在住・在学・在勤をしていて、これから会社や事業を始めたいという方が対象です。

Q3.料金や相談時間はどのくらい？

原則回数を問わず、無料で一時間まで、となります。

相談のみで解決する場合もありますが、内容によっては、改めて弁護士に依頼した方がいい場合もあります。

Q4.問い合わせ内容の割合は？

契約内容についての相談が最も多く、契約書自体の確認、起業・事業・破産に関する相談、インターネットや顧客とのトラブルなど、相談は多岐に渡ります。

Q5.大宮図書館には会社や法律関係の本が揃ったビジネスコーナーがありますが、そういった本を読む際のアドバイスはありますか？

その分野の専門家が書いているものがおすすです。奥付を見たりして、これまでの著作や経歴を参考にするとよいと思います。

また、内容証明の文案や契約書の解説書は、弁護士が書いたものが確実性が高いと思います。



や明るい日差しが入る落ち着いた室内で、埼玉弁護士会のマスコットキャラクター「桜田ペンギン」さんがお出迎えしてくれます。

おすすめ！
雑誌コーナー



大西民子の一首

仕事のことなのか、あるいは短歌のことなのか、まるで見えない敵と戦っているように気負っていた一日、家に帰ってみると展覧会の切符が届いていた。その知らせは、張りつめていた民子の気持ちを、一気にほぐしたのでしょ。

見えぬ敵とはりあへるごとき日のゆふべ
展覧会の切符来てゐる

『花溢れるき』より

紹介した本
『ああ玉杯に花うけて』
佐藤紅緑／著
1975年 講談社

小説が発表された1927年頃は、世界情勢的にも各国が軍事に重きを置いていた時代ということもあり、この作品にもしばしばそういった描写が登場する。当時の少年少女がどういった生活をしていったのか。現代と比べながら読むのも面白い。

環境で挫折することなく向学心を持ち続ける千三を中心に、裕福な家庭で清廉潔白な柳、親の地位を笠に着て横暴な態度を取る阪井、ごますりうまい手塚など、魅力あるキャラクターたちも物語を彩る。

その後縁あって、貧困層の子供に勉強を教える私塾の黙々先生や、第一高校（東京大学教育学部前身）に通う安田五郎と出会い、勉強できる環境を手にした千三は、努力を重ねて第一高校を目指す。そんなストーリーだ。

タイトルの『ああ玉杯に花うけて』はこの第一高校の寮歌の一節で、作中でも何度も登場する。
境頭に挫けることなく向学心を持ち続ける千三を中心に、裕福な家庭で清廉潔白な柳、親の地位を笠に着て横暴な態度を取る阪井、ごますりうまい手塚など、魅力あるキャラクターたちも物語を彩る。

昭和初頭（1920年代後半）の浦和町（現在のさいたま市浦和区）に住む少年・青木千三は、小学校の時は町一番の秀才と言われるほどだったが、貧しいゆえに浦和中学校（現在の埼玉県立浦和高等学校）に進学できず、叔父と一緒に豆腐屋として町を練り歩き豆腐を売って生計を立てていた。自分より勉強ができた同級生たちが中学校に入っでどんどん新しい知識を得ていく姿を見た千三は、自身の環境に劣等感を抱く。

『ああ玉杯に花うけて』



大宮図書館
ホームページ



大宮図書館
X

Xではイベントやスタジオコーナーの待ち人数など大宮図書館の情報を日々お伝えしています。ぜひ、フォローしてみてくださいね！

この刊行物の書影画像は出版社からの提供、TRCMARC、BOOKデータASPから引用しています。